

Ⅲ 学力状況の概要

(1)全国比較(全国の平均を100とした場合の亀岡市の割合指数)

小6	亀岡市 正答率	全国 正答率	全国比 較 (割合指数)	中3	亀岡市 正答率	全国 正答率	全国比 較 (割合指数)
国語	63	65.6	96.0	国語	67	69.0	97.1
算数	61	63.2	96.5	数学	48	51.4	93.4
理科	60	63.3	94.8	理科	47	49.3	95.3

- ア 小6、中3とも全ての教科において、全国の平均正答率を下回る結果となった。
- イ 小6国語は、平均正答率では「A話すこと・聞くこと」(思考力、判断力、表現力等)は全国の数値を上回ったが、その他の内容では、平均正答率が全国の数値を下回る結果となった。
- ウ 小6算数は、すべての領域の平均正答率が全国の数値を下回る結果となった。
- エ 小6理科は、すべての領域の平均正答率が全国の数値を下回る結果となった。
- オ 中3国語は、すべての内容の平均正答率が全国の数値を下回る結果となった。
- カ 中3数学は、「データの活用」の領域において、平均正答率が全国の数値を上回ったが、その他の領域では平均正答率が全国の数値を下回る結果となった。
- キ 中3理科は、すべての内容の平均正答率が全国の数値を下回る結果となった。

(2)各学年教科別の特徴的な問題例

ア 正答率の高かった問題(数値は平均正答率を示す)

小6 国語	問題番号1三「思考・判断・表現」A 話すこと・聞くこと 必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいこと の中心を捉える	選択式	市 85.6 国 84.7
	問題番号1一「知識・技能」(1)言葉の特徴や使い方に関する事項 話し言葉と書き言葉との違いを理解する	選択式	市 84.7 国 85.5
小6 算数	問題番号1(1)A 数と計算「知識・技能」 被乗数に空位のある整数の乗法の計算をすることができる	短答式	市 90.5 国 92.4
	問題番号4(2)B 図形「知識・技能」 図形を構成する要素に着目して、長方形の意味や性質、構成の仕方について理解している	短答式	市 83.1 国 83.2
小6 理科	問題番号1(1)「生命」を柱とする領域「思考・判断・表現」 問題を解決するために必要な観察の視点を基に、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことができる	選択式	市 91.4 国 92.9
	問題番号4(1)「地球」を柱とする領域「思考・判断・表現」 観察で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる	選択式	市 78.7 国 82.3

中3 国語	問題番号4二「知識・技能」(3)我が国の言語文化に関する事項 漢字の行書の読みやすい書き方について理解する	選択式	市 88.6 国 90.1
	問題番号3二「知識・技能」(1)言葉の特徴や使い方に関する事項 事象や行為、心情を表す語句について理解する	選択式	市 84.3 国 84.0
中3 数学	問題番号5 D データの活用「知識・技能」 多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の意味を理解している	選択式	市 81.8 国 83.3
	問題番号2 A 数と式「知識・技能」 簡単な連立二元一次方程式を解くことができる	短答式	市 75.2 国 74.5
中3 理科	問題番号1(2)「エネルギー」を柱とする領域「思考・判断・表現」 モデルを使った実験において、変える条件と変えない条件を制御した実験を計画できるかどうかをみる	選択式	市 74.4 国 78.5
	問題番号3(1)「粒子」を柱とする領域「知識・技能」 化学変化に関する知識及び技能を活用して、水素の燃焼を分子のモデルで表した図を基に化学反応式で表すことができるかどうかをみる	選択式	市 73.5 国 80.1

イ 正答率の低かった問題

小6 国語	問題番号3二「思考・判断・表現」B 書くこと 文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける	記述式	市 37.8 国 37.7
	問題番号1四「思考・判断・表現」A 話すこと・聞くこと 互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、自分の考えをまとめる	記述式	市 48.1 国 47.7
小6 算数	問題番号2(3)C 変化と関係「知識・技能」 示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解している	選択式	市 18.0 国 21.4
	問題番号1(4)A 数と計算「思考・判断・表現」 示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察できる	選択式	市 29.7 国 34.8
小6 理科	問題番号3(1)「エネルギー」を柱とする領域「知識・技能」 日光は直進することを理解している	選択式	市 25.8 国 27.8
	問題番号3(4)「エネルギー」を柱とする領域「思考・判断・表現」 実験で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できる	記述式	市 32.3 国 35.1

中3 国語	問題番号4一(3)「知識・技能」我が国の言語文化に関する事項 行書の特徴を理解する	選択式	市 37.9 国 39.4
	問題番号2三「知識・技能」情報の扱い方に関する事項、「思考・判断・表現」B 書くこと 自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く	記述式	市 44.7 国 46.5
中3 数学	問題番号9(2)B 図形「思考・判断・表現」 筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明することができる	記述式	市 8.1 国 12.5
	問題番号4 C 関数「知識・技能」 一次関数の変化の割合の意味を理解している	選択式	市 32.6 国 37.9
中3 理科	問題番号5(1)「エネルギー」を柱とする領域「知識・技能」 力の働きに関する知識及び技能を活用して、物体に働く重力とつり合う力を矢印で表し、その力を説明できるかどうかをみる	選択式	市 7.6 国 15.3
	問題番号3(3)「エネルギー」を柱とする領域、「粒子」を柱とする領域「思考・判断・表現」 化学変化に関する知識及び技能と「エネルギー」を柱とする領域の知識及び技能を関連付け、水素を燃料として使うしくみの例の全体を働かせるおおもとして必要なものを分析して解釈できるかどうかをみる	短答式	市 21.8 国 24.8